

指揮者により多人数で心を合わせて勇壮なに舞われる獅子舞

高田神社獅子舞

指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	たかたじんじやのししまい
所在地	津山市上横野
指定年月日	昭和32年5月21日
解説	高田神社の秋祭りに行われる獅子舞で、獅子株(ししかぶ)と呼ばれる二人の指揮者の指図によって、雄雌の獅子が笛と太鼓に合わせて勇壮な舞をくりひろげる。一頭につき12人の青年が心を合わせて舞い、これによって悪魔不浄を追い払う。各獅子の中には、中腰で獅子頭を使うものや、頭を高く差し上げる際の肩車役などが入り、これほど大人数で舞う獅子は、ほかに類がなく、勇壮で豪華である。
アクセス方法	
公開状況	7月最後の日曜日・10月第2日曜日
設備	
備考	

きつずページ

していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	高田神社獅子舞
よみかた	たかたじんじゃのししまい
しょざいち (所在地)	津山市上横野
していつひ (指定した日)	昭和32年5月21日
せつめい	獅子株(ししかぶ)という二人の指揮者(しきしゃ)の指図(さしず)によって、オスメスのシシが笛(ふえ)と太鼓(たいこ)にあわせて、いさましく争(あらそ)います。一頭につき12人もの青年(せいねん)が心を合わせて舞(ま)うのが特徴(とくちょう)です。